

親子ふれあい事業ボッチャ大会

2026年2月1日(日)に住友金属鉱山アリーナ青梅において、令和7年度青梅市親子ふれあいボッチャ大会が開催されました。64チーム、合計259人が出場し、会場は大いに盛り上がりました。小さな子どもからお年寄りまで1チーム3人のチーム戦を繰り広げました。私たちは、青梅市青少年健全育成地区委員長連絡協議会のお手伝いとして参加いたしました。

令和7年度東京都青少年員大会

2026年2月15日、大田区民ホール・アブリコにおいて「東京都青少年委員大会」が開催されました。当日は青梅市青少年委員9名が出席しました。式典では、東京都実業高等学校マーチングバンドが素晴らしい演奏とパフォーマンスを披露し、会場を魅了しました。続く講演会では、大田区社会教育主事・深谷じゅん氏を講師に迎え、「ミャクミャクと息づく青少年委員活動」をテーマにお話を伺いました。今後の活動を推進する上で大変唆に富む内容であり、貴重な研修の機会となりました。



青梅市青少年委員紹介

氏 名	担当小学校・市民センター	氏 名	担当小学校・市民センター
大 野 裕 昭	一小・青梅市民センター	岡 部 真 紀	河辺小・河辺市民センター
寄 口 裕 司	二小・長淵市民センター	澤 田 利 夫	新町小・新町市民センター
武 藤 一 由	三小・大門市民センター	唐 津 直 樹	霞台小・大門・新町市民センター
渡 邊 優 介	四小・東青梅市民センター	石 川 富士男	友田小・長淵市民センター
梅 本 亘	五小・梅郷市民センター	山 下 伸 司	今井小・今井市民センター
柳 澤 裕 之	六小・沢井市民センター	古 賀 勝	若草小・新町市民センター
小野寺 洋智	七小・小曾木市民センター	山 口 佳 子	藤橋小・今井市民センター
浅 井 健	成木小・成木市民センター	本 橋 大 輔	吹上小・東青梅市民センター

令和七年度の活動事例の紹介です。
「みらい」への御意見・御要望をお待ちしております

〒198-8701 青梅市東青梅1-11-1
青梅市教育委員会社会教育課「青少年委員担当」まで

ホームページからも見られます
<https://www.ome-ycc.tokyo/>



編集 青梅市青少年委員協議会
発行 青梅市教育委員会社会教育課
青梅市東青梅1-11-1
Tel 0428-22-1111



青梅市青少年委員協議会 副会長(六小担当) 柳澤 裕之

私たち青少年委員は、自主事業である「ます釣りにチャレンジ」や「集まれおうめっ子」の運営をはじめ、青少年健全育成地区委員会主催の「ジュニアリーダー講習会」への参画など、数々の活動を行っています。

活動の中で私たちが常に心に留めているのは、事業を通じて子どもたちの自主性、そしてコミュニケーション能力をいかに引き出すかという点です。私たちが行うのは最小限のレクチャーのみ。あとは子どもたち同士で声を掛け合い、互いに助け合いながら活動を進めてもらいます。

初めて会う子に対して「ドキドキ」しながら声をかける。知り合った仲間とともに好奇心をフルに発揮し、初めての体験に目を輝かせて無我夢中で取り組む。こうした体験の積み重ねはやがて成長の糧となり、新しい世界へ飛び立つ際の大きな力になると確信しています。

私たちは、子どもたちの「体験」や「ドキドキ」のきっかけをたくさん用意して待っています。

このメッセージが目に残りましたら、ぜひお気軽にお声掛けください。

～青少年委員はこんな活動をしています～

青梅市青少年委員は各小学校区に各1名選出された委員16名で活動をしています。

活動報告(令和7年度)

ます釣りにチャレンジ・集まれ！おうめっ子・青梅市小・中学生の主張大会審査員・成人を祝う会のお手伝い・管外研修 など
※今年は、青梅サマーフェスティバルを青梅フェスティバルの会と共催いたしました。
※その他、子ども会活動・PTA活動・各市民センターのお手伝いもしていますので、気軽に声をかけてください。

活 動 の 紹 介

集まれおうめっ子 木こりの巻 2025



11月30日(日)、秋晴れの空の下、青梅市青少年委員協議会主催「集まれおうめっ子～木こりの巻～」を開催しました。小学4年から中学3年までの24名が参加し、6名ずつの班でリーダーや選木係などの役割を決め、協力して活動しました。

午前中は林業に携わる方から森の話を聞いた後、近くの山林に入り間伐を体験。自分たちで選んだ木を切り倒し、森の命に触れる貴重な経験となりました。昼食は野外料理に挑戦。メスティンと餃子の皮、様々な野菜を使って特製ラザニアを自分たちで作って美味しく味わいました。

午後は2グループに分かれ「火おこし体験」と、午前中に切った間伐材を加工する「コースター作り」を行い、木の有効活用も学びました。

最後に各班の発表者が感想を共有し、充実した笑顔が溢れました。本事業は来年一旦お休みしますが、強い要望があればぜひまた開催したいと感じています。青梅の自然とふれあい、絆を深めた実りある一日でした。

青梅っ子ワイワイフェスタ

10月26日(日)、「青梅っ子わいわいフェスタ」が開催されました。当日は青梅市立第一小学校の運動会予備日と重なり、運動会自体はなかったものの授業日であったため、開会時点での一小生の参加はなく、静かな滑り出しとなりました。青少年委員のブースでは「ピンポン玉流し」と「モルック」を実施しました。開始直後は子どもが少なかったものの、第一支会地区外からの児童や他ブースのスタッフも体験に訪れ、賑わいを見せ始めました。そうしているうちに授業を終えた一小生も合流し、最終的には盛況のうちにイベントを終えることができました。

多摩ブロック研修会

10月25日、稲城市で開催された多摩地区青少年委員会のブロック研修会に、岡部会長をはじめ10名で参加してきました！

あいにくの雨でしたが、会場の「ふれあいの森」には9市町村から多くの委員が集結。研修の内容は、8班対抗の体験型ゲームです。「ルール説明にないことは何をやってもOK(!?)」という自由な空気の中、各班とも知恵(あるいは悪知恵?)をフル回転！雨の中、泥んこになりながら森を駆け回り、大人たちが本気で楽しむ時間となりました。

他地区の委員さんとの交流も深まり、非常に刺激的な一日でした。この研修で得たアイデアを活かし、青梅の子どもたちにも最高の「楽しい時間」を届けられるよう、これからの活動に繋げていきます！



青梅市二十歳を祝う会

みんなで返還されたタイムカプセルを見せ合い、話して笑う姿がとても素敵な一日でした。

管外研修

2026年3月8日(日)、青梅市青少年委員協議会のメンバー16名は、群馬県の「国立赤城青少年交流の家」にて研修を実施しました。午前8時30分に青梅市役所を出発し、10時40分に現地へ到着。午後1時からの3時間は、相互理解とチームワークを高める「プロジェクトアドベンチャー」に挑みました。活動は、支えの重要性を学ぶ「トントン、すりすり」から始まり、「出会いのサークル」や「じゃんけんタグ」で緊張をほぐしました。3人1組の「ぎょうざじゃんけん」では、手元に集中することで自然と笑顔が溢れ、トランプを用いた「ウェスタンチャレンジ」では瞬発力と計算力で大いに盛り上がりました。

締めくくりは、全員で挑んだ「ヘリウムフープ」です。16人の指を離さずフラフープを下ろすという一見簡単なルールですが、息を合わせる難しさを実感。

これらの体験を通じ、青少年育成に欠かせない「信頼」と「協力」の尊さを深く学ぶ一日となりました。

